

## Contents

- ▶ 「産学連携授業」によるビジネスマネジメント
- ▶ キオクシア（株）から講師を招き「地域環境論」
- ▶ 学生が商品開発「みんなの和プリン」完成記者発表会
- ▶ 公私協力型大学だからできる「ICT戦略課」とのコラボ授業
- ▶ 鈴鹿山系 朝明川源流域のブナ林調査
- ▶ 「竹粉は肥料」になるのか？
- ▶ 伊勢湾の答志島にてアマモ場の保全活動
- ▶ 三重県テニス選手権シングルス優勝 谷川大雅選手

## 「産学連携授業」によるビジネスマネジメント



新商品開発について社長へプレゼン

6月6日（月）に令和3年度「三重のおもてなし経営企業選」受賞企業である三重化学工業（株）と総合政策学部のコラボ授業が実施されました。「ビジネスマネジメント」授業の一環で企業の地域貢献、新商品開発、海外戦略のテーマで、社員の方とグループワークを行い、学生が発表。当日は中日新聞、中部経済新聞、四日市のケーブルテレビCTVによる取材があり、三重県庁のホームページにも掲載されました。



社員と学生によるグループワーク

## 半導体メーカーのキオクシア（株）から講師を招き「地域環境論」

5月27日（金）に開催された環境情報学部「地域環境論」の授業では、キオクシア（株）から講師を招いて授業を行いました。キオクシアの四日市工場は、世界最大級のフラッシュメモリ工場です。AIを活用した最先端のスマートファクトリーで高い生産力と生産効率を実現し、増加するメモリ需要に対応しています。今回は「キオクシアの環境保全対策」というタイトルで、環境関連の話を中心に講義を受けました。教材として、普段なかなか見ることのできない、シリコンウエハーの実物やキオクシアの工場内をバーチャルで見学できるVRゴーグルも体験しました。



シリコンウエハー（左上）とVRゴーグル（左下）を手に取り、講義を聴く学生

## 学生が商品開発「みんなの和プリン」完成記者発表会



お笑いコンビ「オレンジ」の田中さんとの記念撮影

中日新聞の取材を受け、記事が掲載されました



5月31日（火）に四日市大学において、「みんなの和プリン」完成記者発表会が行われました。地域活性化やSDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指し、本学総合政策学部松井ゼミと三重県出身のよしもと「住みます芸人」が中心となって高齢者向けのプリンを開発しました。このプロジェクトには16人の学生が参加。「みんなの和プリン」は、きなこ、抹茶、あおさみるく、黒ごま、こしあんの5種類で、牛乳の代わりに豆乳を使い、カロリー控えめとなっています。プリンは高齢者施設での展開を予定しているほか、四日市市諏訪栄町のカフェ「スプラウト」で6月下旬から販売。1個150円。

## 公私協力型大学だからできる「ICT戦略課」とのコラボ授業

6月2日（木）に四日市市役所のICT戦略課の職員の方にお越しいただき、統計調査について2年生23名が授業を受けました。「統計調査とは？」といった話から始まり、国の基幹統計調査や、その調査事務を法定受託事務として地方公共団体である四日市市が担っていること、また本年10月1日を基準日として行われる、「就業構造基本調査」についてコンパクトにわかりやすくご説明いただきました。今回受講した学生のうち希望する学生は「就業構造基本調査」の調査員（特別職非常勤公務員）として、四日市市内で実際に調査業務に従事する予定です。



四日市市職員による統計学の講義

## 鈴鹿山系 朝明川源流域のブナ林調査



ネットの設置方法の説明を聞く学生たち

6月4日(土)に四日市大学自然環境研究会と四日市大学環境情報学部の共同活動で、鈴鹿山系朝明溪谷源流部のブナ林の調査保全活動を行いました。この森では樹齢30年より若いブナが全く育っていないことが、この共同活動の調査で分かっています。この日の作業では、異なる標高の4地点で、ブナの実生の周りを円筒形のプラスチック製ネットで保護し、監視用カメラを設置しました。今回の目的は、プラスチックネットの効果と、実生の成長を阻害している動物を探ることです。6月25日(土)には2回目の調査とカメラやメモリーの交換作業を行いました。

## 「竹粉は肥料」になるのか？



地域の里山資源を農業に活かす

四日市大学の農業環境学研究室では、竹林間伐材を有効活用した「土づくり」の研究に取り組んでいます。竹を粉状にして農地にまくことで有機物や養分が豊富に含まれた豊かな土をつくり、お米の品質や収穫量を上げることができないか研究を進めています。この研究は2015年から調査を始めており、竹粉をまくことで有機物が増え、肥料の効きが持続することや、植物に必要な3大要素である窒素やリンが増えるなど一定の効果が期待できることがわかりました。この研究の成果は国連が掲げるSDGsの「陸の豊かさを守ろう」や「パートナーシップで目標を達成しよう」にも貢献しています。

## 伊勢湾の答志島にてアマモ場の保全活動



答志島の漁師の方から説明を受ける学生

四日市大学のサークル「エコ活部」が6月12日(日)に答志島奈佐の浜でアマモ場の保全活動を行いました。今回は保全活動としてアマモの種取り(花穂採取)を行いました。海のゆりかごと呼ばれるアマモ場は、海洋生物の繁殖と成長の場として大切な場所と考えられていますが、近年、底生の魚介類など湾内で生活史の大半を過ごす魚介類の減少が叫ばれています。アマモ場の減少も大きく影響していると推定されています。



「アマモの花穂採取」の動画はこちら



## 三重県テニス選手権でシングルス優勝し、全国大会出場へ

四日市大学テニス部の谷川選手が、5月8日(日)にスポーツの杜鈴鹿で行われた「三重県テニス選手権」で一般男子シングルス優勝。9月13日(火)に岩手県で開催される全日本テニス選手権予選の東日本大会への出場権を得ました。谷川選手は、三重県立津東高校出身で高校時代にテニスの基礎を身に付け、本学入学後、ハードなトレーニングにも前向きに取組み、技術面、メンタル面で能力を発揮し、全国レベルの選手に成長しました。長谷川良コーチいわく「谷川選手は類まれな身体能力の高さと接戦を全て勝ち切るメンタルは本当に凄い。彼はメンタルモンスターです。」と言わせる程。今後の活躍に期待したいと思います。



谷川 大雅 選手 (総合政策学部3年)

※本号は2022年5月から6月までの情報を中心に掲載しています。

